

未来の駅のサービスを体験できる

「STARTUP_STATION」開催！

ベンチャー企業とのテストマーケティングから協業を生み出します

JR東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田 裕、以下「JR東日本スタートアップ」）は、12月4日（水）から9日（月）までの6日間、大宮駅西口イベントスペースで、JR東日本グループのビジネス創造活動「JR東日本スタートアッププログラム2019」で採択したベンチャー企業と作り上げる新しいサービスや、ビジネスのデモンストレーションを体験できるイベント「STARTUP_STATION」を開催いたします。

JR東日本スタートアッププログラムは、ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案をオープンに募り、ブラッシュアップを経て提案を実現していくプログラムです。3回目の今年は262件の提案をいただき、21件を採択しました。今回の「STARTUP_STATION」では、4件の協業内容を実際に体験できます。

JR東日本グループでは、こうした実験を踏まえ、お客さまの利便性を高める新たなサービス実現を推進していきます。



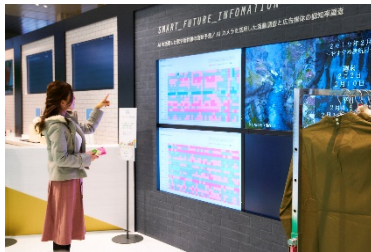
▲会場イメージ

< 「STARTUP_STATION」概要 >

- 日時：2019年12月4日（水）～ 12月9日（月）11:00～18:00 ※4日のみ14:00～
 - 会場：大宮駅西口イベントスペース（埼玉県さいたま市大宮区錦町）
 - 主催：JR東日本スタートアップ株式会社
 - 内容：
 - ①株式会社QBIT Roboticsの最先端AI技術を使った無人ロボットパスタカフェ
 - ②株式会社ブイシンのウルトラ自販機によるエキナカでの無人駅弁・スイーツ販売
 - ③プランテックインターナショナル株式会社の瞬間凍結新技術による地域鮮魚の首都圏流通拡大
 - ④MIRAI SAKE COMPANY株式会社のAI味覚判定を活用した日本酒レコメンドサービスによる新しい観光提案
 - 入場：無料
 - HP：<http://jrestartup.co.jp/>
- ※イベント内容について予告なく変更となる場合がございます。

<参加ベンチャー企業（一例）>

企業名	実証内容
 株式会社QBIT Robotics	「最先端AI技術を使った無人ロボットパスタカフェ」 最先端のAIと制御技術を駆使したロボットアームを活用した新感覚のロボットカフェを展開。雇用・労務管理問題を解決するために効率化を実現しつつ美味しいパスタ料理を提供。併せてロボットと人の楽しいコミュニケーションをデザインし実証してまいります。
 株式会社ブイシク	「ウルトラ自販機によるエキナカでの無人駅弁・スイーツ販売」 新しい機構の自動販売機を開発することで、今まで商品の販売が不可能だった駅弁やスイーツなど、鮮度の高い商品の取扱いを可能にし、営業時間の拡張や省スペースでの営業展開を図り、サービス向上を目指します。
 ブランテックインターナショナル株式会社	「瞬間凍結新技術による地域鮮魚の首都圏流通拡大」 新しい瞬間凍結技術であるHybridICEを活用することで、鮮度を維持したままでの地域鮮魚の流通性を高めるとともに、低コストでの輸送を実現することで新たな首都圏への鮮魚の流通網構築を目指します。
 MIRAI SAKE COMPANY MIRAI SAKE COMPANY株式会社	「AI味覚判定を活用した日本酒レコメンドサービスによる新しい観光提案」 AIによる味覚判定を通して、一人一人にあった日本酒や酒蔵・飲食店を提案する日本酒専門の観光案内所兼マイクロバーを開設し、新たな顧客体験を提供します。



▲ 昨年の様子（左から）「AIを活用した新幹線の混雑予測」、「記者会見」、「スマートフォンアプリとキオスク端末を活用した無人オーダーカフェ」

JR東日本スタートアップ株式会社とは

JR東日本スタートアップ株式会社は、JR東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都新宿区西新宿1-1-6 12SHINJUKU 1201

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株 主：東日本旅客鉄道株式会社（100%）

設立日：2018年2月20日

出資枠：50億円

連絡先：E-mail info@jrestartup.co.jp

ホームページ <http://www.jrestartup.co.jp>



あなたの夢を未来へつなぐ
『明日』創造ステーション